



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL http://www.parkercorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男 (TEL) 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	22,486	△2.6	1,263	△7.0	1,356	△1.3	928	△5.4
27年3月期第2四半期	23,076	31.7	1,358	88.8	1,374	45.2	981	72.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 54百万円(△93.8%) 27年3月期第2四半期 872百万円(△54.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.86	—
27年3月期第2四半期	37.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,838	23,009	48.5
27年3月期	44,301	23,017	47.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,787百万円 27年3月期 20,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	47,000	△6.0	2,360	△21.4	2,680	△16.7	1,680	△19.8	64.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	26,801,452株	27年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	899,348株	27年3月期	898,185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	25,902,653株	27年3月期2Q	25,906,920株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国ではペースダウンしたものの個人消費の牽引により景気回復は継続し、欧州でも大規模な金融緩和策や原油価格下落の影響などにより回復基調を維持しました。しかしながら中国の景気減速の影響が新興国や資源国へ徐々に広がる中、更に突然の人民元の切下げなど金融市場も不安定な状況で推移しました。

わが国経済につきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しに兆し等が見られるものの、中国や新興国の景気減速の影響により、先行きに不透明感が見られました。

このような経済情勢の下、当社グループではマーケティング力を強化し、主力の自動車業界や電子部品業界の市場動向に注力しながら、グローバル生産体制の最適化を図ると共に販売強化に努めてまいりました。

当社としましては、国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を経営の両輪として製品開発や海外展開を推進してまいりました。

なお、前連結会計年度末の連結子会社1社の持分比率変更に伴う異動等もあり前年同期に比べ売上高、営業利益、経常利益が減少しております。更に、前年には特別利益に投資有価証券売却益等を計上した影響もあり親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期に比べ減少しております。

その結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高22,486百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は1,263百万円（前年同期比7.0%減）、経常利益は1,356百万円（前年同期比1.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は928百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

食品機械・材料や試験機械及び自動車用内装製造設備の販売が順調に推移し、更には食品機械に大型物件の売上があり、第1四半期に延期となっていた自動車内装製造設備の売上も計上しました。

当部門の売上高は、1,563百万円（前年同期比46.4%増）、営業利益は37百万円（前年同期の営業損失は54百万円）となりました。

・化成品部門

自動車業界向け製造販売は、国内では顧客の減産もあり低調に推移しました。中国市場では在庫調整などの影響もありましたが、同市場での製造販売は順調に推移し、メキシコでは北米市場向けが好調に推移しました。またインドでの製造販売も順調に推移しております。

当部門の売上高は7,662百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は791百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

・化学品部門

一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は国内では低調に推移しましたが、製造コスト低減策を実施したことにより営業利益は改善しました。また中国での製造販売は堅調に推移しました。

当部門の売上高は2,621百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は87百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

・産業用素材部門

家電用防音材の製造販売は、円安の影響もありましたが国内、海外とも順調に推移しました。自動車用防音材の製造販売は、国内での自動車メーカーの減産により厳しい状況で推移しました。なお、前連結会計年度末に中国子会社1社が持分比率の変更により連結子会社から持分法適用関連会社となっております。

当部門の売上高は7,461百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は188百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

・化工品部門

アジア市場におけるファインケミカル製造販売は、成長鈍化の中国の影響があり低調に推移しましたが、国内でのカーケアケミカルは天候にも恵まれ、製造販売が好調に推移しました。

当部門の売上高は1,917百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は73百万円（前年同期の営業損失は0百万円）となりました。

・その他部門

中国市場での商品販売が好調に推移し、中国やロシアからの輸入販売は堅調でしたが、国内での販売価格の下落により減収ですが増益となりました。

当部門の売上高は1,260百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は85百万円（前年同期比81.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,462百万円減少し、42,838百万円となりました。主な要因は、AK.PARKER(THAILAND) CO., LTD. を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、総資産が増加（398百万円）しましたが、受取手形及び売掛金の減少（370百万円）、商品及び製品の減少（174百万円）、保有株式の時価の下落及びAK.PARKER(THAILAND) CO., LTD. を連結範囲に含めたこと等による投資有価証券の減少（1,705百万円）があったことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ1,453百万円減少し、19,829百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（692百万円）、前受金の取崩等によるその他流動負債の減少（237百万円）及び保有株式の時価の下落による繰延税金負債の減少（381百万円）によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ8百万円減少し、23,009百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（816百万円）、為替換算調整勘定の増加（68百万円）及び非支配株主持分の増加（116百万円）がありましたが、その他有価証券評価差額金の減少（1,028百万円）があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、198百万円の増加の6,559百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,359百万円（前年同期は1,570百万円）、減価償却費544百万円（前年同期は517百万円）、仕入債務の増減額によるキャッシュ・フローの減少831百万円（前年同期は10百万円の増加）、法人税等の支払額313百万円（前年同期は469百万円）等により、830百万円の収入（前年同期は1,662百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規製造設備・自動車用金型等の有形固定資産の取得による支出354百万円（前年同期は679百万円）、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出82百万円（前年同期は143百万円）等により、372百万円の支出（前年同期は772百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの収入79百万円（前年同期は460百万円の支出）、長期借入金の返済による支出163百万円（前年同期は52百万円の支出）、配当金の支払77百万円（前年同期は77百万円）等により、219百万円の支出（前年同期は9百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画（平成27年5月12日付決算短信）に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本
剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。
また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原
価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたしま
す。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当
該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び
連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将
来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,282,638	6,567,144
受取手形及び売掛金	11,680,578	11,309,896
商品及び製品	3,428,765	3,254,198
仕掛品	456,708	461,966
原材料及び貯蔵品	1,035,525	1,137,032
繰延税金資産	227,791	227,325
その他	910,834	982,775
貸倒引当金	△17,377	△13,570
流動資産合計	24,005,465	23,926,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,993,251	8,154,177
減価償却累計額	△4,768,547	△4,938,510
建物及び構築物(純額)	3,224,704	3,215,667
機械装置及び運搬具	6,671,307	7,093,605
減価償却累計額	△4,824,229	△5,014,745
機械装置及び運搬具(純額)	1,847,077	2,078,859
土地	6,100,219	6,175,972
リース資産	455,948	423,614
減価償却累計額	△249,391	△255,951
リース資産(純額)	206,557	167,662
建設仮勘定	183,366	51,562
その他	3,390,672	3,550,927
減価償却累計額	△2,873,538	△2,950,078
その他(純額)	517,133	600,849
有形固定資産合計	12,079,058	12,290,573
無形固定資産		
リース資産	2,808	2,088
のれん	915	686
その他	343,495	411,518
無形固定資産合計	347,220	414,293
投資その他の資産		
投資有価証券	5,821,646	4,116,194
長期貸付金	299,194	296,994
繰延税金資産	157,469	157,947
その他	1,780,340	1,824,554
貸倒引当金	△189,275	△188,612
投資その他の資産合計	7,869,375	6,207,078
固定資産合計	20,295,653	18,911,945
資産合計	44,301,119	42,838,715

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,237,023	6,544,877
短期借入金	3,048,167	3,133,868
1年内返済予定の長期借入金	526,672	1,826,672
リース債務	112,341	103,497
未払法人税等	357,302	372,396
賞与引当金	534,442	579,915
繰延税金負債	—	183
その他	1,629,434	1,391,827
流動負債合計	13,445,384	13,953,237
固定負債		
長期借入金	4,861,646	3,398,310
リース債務	108,568	83,485
繰延税金負債	922,541	541,350
役員退職慰労引当金	223,330	208,293
退職給付に係る負債	1,536,370	1,468,645
資産除去債務	15,613	15,956
その他	169,929	160,364
固定負債合計	7,837,999	5,876,405
負債合計	21,283,383	19,829,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,205	2,201,205
資本剰余金	2,277,399	2,277,399
利益剰余金	12,410,062	13,226,363
自己株式	△206,233	△206,792
株主資本合計	16,682,433	17,498,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,036,515	2,007,904
繰延ヘッジ損益	△8,010	△1,655
為替換算調整勘定	1,227,067	1,295,655
退職給付に係る調整累計額	△24,694	△12,385
その他の包括利益累計額合計	4,230,877	3,289,519
非支配株主持分	2,104,424	2,221,376
純資産合計	23,017,735	23,009,072
負債純資産合計	44,301,119	42,838,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,076,643	22,486,549
売上原価	17,427,496	16,942,815
売上総利益	5,649,147	5,543,734
販売費及び一般管理費	4,290,854	4,280,496
営業利益	1,358,292	1,263,238
営業外収益		
受取利息	18,050	15,557
受取配当金	25,439	26,060
持分法による投資利益	24,055	50,190
為替差益	455	-
その他	46,271	48,246
営業外収益合計	114,273	140,054
営業外費用		
支払利息	61,826	32,406
為替差損	-	2,172
その他	36,089	12,039
営業外費用合計	97,916	46,618
経常利益	1,374,649	1,356,673
特別利益		
固定資産売却益	2,693	4,601
投資有価証券売却益	123,911	-
負ののれん発生益	24,988	-
関係会社株式売却益	100	-
関係会社出資金売却益	885	-
保険差益	47,345	5,651
特別利益合計	199,924	10,253
特別損失		
固定資産売却損	46	4,476
固定資産除却損	2,755	3,425
減損損失	1,442	-
特別損失合計	4,244	7,901
税金等調整前四半期純利益	1,570,329	1,359,025
法人税、住民税及び事業税	380,708	326,068
法人税等調整額	△9,710	△10,234
法人税等合計	370,997	315,833
四半期純利益	1,199,331	1,043,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	217,618	114,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	981,713	928,956

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,199,331	1,043,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,593	△791,697
繰延ヘッジ損益	862	6,354
為替換算調整勘定	△480,661	54,701
退職給付に係る調整額	2,862	12,385
持分法適用会社に対する持分相当額	34,175	△270,624
その他の包括利益合計	△327,167	△988,879
四半期包括利益	872,163	54,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	862,950	△12,402
非支配株主に係る四半期包括利益	9,213	66,713

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,570,329	1,359,025
減価償却費	517,537	544,310
投資有価証券売却損益(△は益)	△123,911	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△368	△4,750
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,191	45,594
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,597	△52,249
受取利息及び受取配当金	△43,490	△41,618
支払利息	61,826	32,406
持分法による投資損益(△は益)	△24,055	△50,190
有形固定資産除却損	2,755	3,425
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,646	△124
関係会社出資金売却損益(△は益)	△885	-
減損損失	1,442	-
負ののれん発生益	△24,988	-
為替差損益(△は益)	4,975	25,099
売上債権の増減額(△は増加)	457,315	444,377
たな卸資産の増減額(△は増加)	△448,412	96,750
仕入債務の増減額(△は減少)	10,241	△831,796
その他	169,488	△440,694
小計	2,144,557	1,129,567
利息及び配当金の受取額	49,327	46,149
利息の支払額	△61,798	△32,550
法人税等の支払額	△469,704	△313,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,662,383	830,142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	16,032	3,282
有形固定資産の取得による支出	△679,048	△354,878
有形固定資産の売却による収入	4,550	5,611
無形固定資産の取得による支出	△143,175	△82,950
投資有価証券の取得による支出	△4,368	△4,755
投資有価証券の売却による収入	161,351	-
貸付けによる支出	-	△315
貸付金の回収による収入	174	-
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	85,114	-
連結子会社出資金の追加取得による支出	△90,326	-
その他	△122,536	61,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772,233	△372,579

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△460,008	79,015
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△101,228	△56,553
長期借入れによる収入	950,000	-
長期借入金の返済による支出	△52,986	△163,336
配当金の支払額	△77,722	△77,709
非支配株主への配当金の支払額	△266,598	-
その他	△631	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,175	△219,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129,757	26,952
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	751,216	265,374
現金及び現金同等物の期首残高	5,609,820	6,271,658
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	22,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,361,037	6,559,486

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,067,567	7,112,622	2,668,249	9,181,225	1,633,656	21,663,320	1,413,322	23,076,643	—	23,076,643
セグメント間の 内部売上高又は振替高	65,995	373,932	65,689	158,571	298	664,487	67,395	731,882	△731,882	—
計	1,133,562	7,486,555	2,733,938	9,339,796	1,633,955	22,327,808	1,480,717	23,808,526	△731,882	23,076,643
セグメント利益又は 損失(△)	△54,924	738,817	58,118	569,826	△478	1,311,359	46,932	1,358,292	—	1,358,292

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,563,215	7,662,136	2,621,950	7,461,548	1,917,527	21,226,378	1,260,170	22,486,549	—	22,486,549
セグメント間の 内部売上高又は振替高	40,575	109,291	37,942	79,991	459	268,260	401,269	669,530	△669,530	—
計	1,603,790	7,771,428	2,659,892	7,541,540	1,917,987	21,494,638	1,661,440	23,156,079	△669,530	22,486,549
セグメント利益	37,159	791,616	87,814	188,251	73,363	1,178,206	85,031	1,263,238	—	1,263,238

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。